

福井県農林漁業における環境負荷低減事業活動の促進に関する基本計画の概要

令和5年3月公表

えつざん じゃくすい

- 「越山若水」と称される豊かな自然に恵まれた福井において、化学肥料・農薬の使用低減の取組の推進や、情報発信・食育・農業体験などによるエコ農林水産物の消費者理解の促進を図るとともに、特定区域におけるコウノトリをシンボルとした有機農業のモデル事例の創出と県内の横展開を目指す。

【作成主体】 福井県及び県内全17市町

【計画の主な目標】

有機農業・特別栽培の取組面積	2,200ha (R12)
農林漁業分野におけるCO2排出量	11.9万t-CO2 (R12)
スマート農林水産業の導入面積	12,000ha (R12)

【取組のポイント】

- ・土壌診断に基づく施肥やIPM（総合防除）技術等の導入による化学肥料や化学合成農薬の使用量の低減を推進
- ・スマート農業技術の開発・実証・普及を進め、作業の効率化と燃料使用量の削減を推進
- ・エコ農林水産物の情報発信・食育・農業体験などによる消費者理解の促進や産地交流会の開催などによる利用促進、直売所の整備などによる地産地消の拡大

【特定区域（モデル地区）の設定】

<越前市全域>

- ・新たな有機農業者の増加のための先進農家の技術のマニュアル化
- ・大規模有機農業の展開のためのスマート農業技術の導入
- ・コウノトリをシンボルとした有機農産物の6次化商品の開発と販売促進



福井県特別栽培農産物認証制度



バイオ炭を利用したサトイモ



産地交流会



コウノトリをシンボルとした有機農業の推進